

第21回がん対策推進協議会 議事録

【日時】令和5年7月26日(水)19:00～20:00

【会場】群馬県庁29階 第1特別会議室

【出席者】群馬県がん対策推進協議会委員18名(代理出席1名)

県健康福祉部長、健康福祉部副部長、
感染症・がん疾病対策課長ほか関係課長4名

【議事】

- (1) 第4期群馬県がん対策推進計画策定スケジュール(案)について
- (2) 第4期がん対策推進基本計画の概要について
- (3) 第4期群馬県がん対策推進計画骨子案について

1 開会

2 健康福祉部長挨拶

・群馬県健康福祉部長 唐木 啓介

3 新委員紹介

4 役員選出

次のとおり選出された。

- ・会長 須藤 英仁 委員(群馬県医師会長)
- ・副会長 齋藤 繁 委員(群馬大学医学部附属病院長)

5 副会長あいさつ

・副会長 齋藤 繁(群馬大学医学部附属病院長)

6 議事

* 主な意見・質疑の概要

(1) 第4期群馬県がん対策推進計画策定スケジュール(案)について

- ・事務局から説明。

(2) 第4期がん対策推進基本計画の概要について

- ・事務局から説明。

(3) 第4期群馬県がん対策推進計画骨子案について

- ・事務局から説明

※がん対策推進計画検討部会からの意見について浜崎部会長から説明

- ・部会からの意見の内容及び第4期群馬県がん対策推進計画骨子案に反映させた箇所について説明があった。

(委員)

- ・計画検討部会で、骨子案の全体目標3つめ、「がんとともに安心して暮らせる地域社会の構築」に当初の案で入っていた「尊厳を持って」という言葉に違和感があるとの意見を申し上げた。国の第4期基本計画にはこの言葉が入っているが、これは、認知症になると人格が失われるというスティグマからの脱却を目指すというところからきているのだと思う。しかし、がんになっても尊厳が失われることは決してなく、あえて「尊厳」という言葉を使う必要はないと考える。県の計画骨子案では、「がんとともに安心して暮らせる」という非常に当たり前の表現になってよかったと感じている。

(副会長)

- ・極めて適切なお發言をいただいた。がんを治療しながら普通に社会生活を送れる時代。御指摘いただいたような御意見が今後ますます一般的になると思われる。

(副会長)

- ・がん患者代表として、御意見はいかがか。

(委員)

- ・ご説明を聞いて、非常によく考えられていると感じた。資料をよく読んで、後日意見を申し上げたい。

(副会長)

- ・医療機関の立場から、御意見はいかがか。

(委員)

- ・予防分野に「かかりつけ医の普及」という項目がある。がんの医療は急性期のみではないので、「かかりつけ医」を是非広めていただきたい。

※協議会の意見を踏まえ、事務局にて骨子案を確定することで了解。

(4) その他

- ・事務局から「ロジックモデル」について説明。